

し、東京地裁で十二日四日に開かれる調停正式に受託し、同月には解決金を支払って和算書 藤岡市で



館。十五日午後一時から、藤岡市民ホール入場無料の没後三言記念シンポジウムも

「矢内市長も税金から一任を果たしてほしい」  
 業者間の問題は解決したものの、市民への説明などをしてきた「観覧」の意図を理解していると思う。その上での手段も検討する  
 明はこれからで、具体車から伊勢崎を考える  
 的な方法などは決まっ  
 会」の藤田壮洋会長は「で、しっかりと説明責任を」と  
 (川口晋介)

# 現代の名工 県内から4人

厚生労働省が、伝統工芸や工業などの分野で最高水準の技術を持つ職人を認定する「現代の名工」。県内からは塗装仕上工の木暮実さん(57)＝高崎市、木製建具製造工の高田年三さん(57)＝吉井町、美容師の山田久美子さん(50)＝富岡市、製図工の松木敏行さん(66)＝太田市＝の4人が選ばれ、11日に東京・明治記念館で表彰式が行われた。4人のうち木暮さんに喜びの声を聞いた。

## 装飾塗装の草分け

塗 装 木暮 実さん(57)＝高崎市  
仕上工



木目や大理石などの模 最近ではテーマパークや商業  
 様。どう見ても本物だ。こ 店舗などでニスが高まっ  
 うした模様そっくりに描く ている。  
 「デコラティブ・ペイント (装飾塗装)」の先駆者。 「まさか自分が。名工に  
 心ざわしい仕事をしなければ

ばと責任を感じる」と率直に驚く。  
 中々矢面に生まれ、子どもどころから絵を描くのが好き。塗装会社に入り、文化財を塗装で修復する様子を見て「こんな高度な仕事をしたい」と志した。  
 しかし、海外では歴史ある装飾塗装だが、国内で教えてくれる人は当時いなかった。外国人の職人たちを断続的に訪ね、洋書を片手に十数年間かけて習得。テーマパーク「東京ディズニーシー」の仕事を手掛けるまでになった。  
 「自分でもさらに勉強し、後進を育てたい。『塗装屋』を『芸術家』に」と目標を掲げている。  
 (菅原洋)

【式店別式自】自宅  
 (喪喪主)の略  
 【高崎市】田明登志枝さん 11日、80歳式13日午

明	橋	高	崎	桐	生	伊勢崎	太	田	品	目	館	林	沼	田	波	川	足	利
1580	630	1680	840	1580	530	1680	420	1470	315	生	1575	315	1580	630	1680	1050	1890	53
126	42	105	53	126	42	105	21	105	21	夕	94	42	116	42	105	53	1890	53